

保健だより2月号



平成30年2月2日
鳥取西高等学校

県内では、インフルエンザ警報が出されているこの頃ですが、学校内での流行はおさまっているように感じられます。引き続き、感染対策を続けていきましょう。

こまめな換気で、インフルエンザを予防しよう！

1月22日に、学校薬剤師の大村匡由先生に来ていただき、教室内の空気検査を行いました。教室内の二酸化炭素濃度は、教室内の空気が清浄かどうかの目安となります。ちなみに、教室内の二酸化炭素濃度の基準値は0.15%以下です。検査したほとんどのクラスでは、これを上回る0.2%でした。校舎改築してから初めての空気検査は、「換気をもう少し頑張りましょう」という結果でした。

【大村学校薬剤師より指導助言】

- ▼空気検査：インフルエンザの流行時期に合わせて行っています。今回は基準値を超えている部屋が多数でした。耐震工事後、欄間の構造が以前と変わり、開閉しづらいことも原因の一つかと思われます。廊下側の欄間やドアを少し開けておくだけでも換気を促します。こまめな換気をしてください。
- ▼照度検査：基準値以内です。窓側はカーテンで調節してください。
- ▼騒音検査：基準値を少しだけ超えました。平常は音源となる工事、交通量なく基準値内。静かな教育環境と確認しています。



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(溶連菌感染症)も流行中

1月末から県内において、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(溶連菌感染症)が流行しています。

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは、発熱・咽頭痛などを主とする感染症で、小児に好発します。(高校生も抵抗力が落ちているとき等に罹る場合があります)
- ・原因は、細菌性のA群溶血性レンサ球菌です。
- ・発熱、咽頭熱などの症状があった場合は、早めに医療機関で受診しましょう。
- ・手洗いを徹底しましょう。
- ・症状がある場合は、マスクを付けるよう心がけましょう。

手洗い・マスク着用で、感染症を予防しよう！